

女子決勝 仲西一美東 後半 素早い動きでシュートを放つ美東中の名嘉陽菜(右) =29日、八重瀬町の東風平体育館 (田中芳撮影)



美東(女子)、神森(男子)が頂点

県中学校春季ハンドボール

中学校春季選手権大会の最終日は29日、八重瀬町の東風平運動公園体育館で男女決勝までを行い、女子は美東が仲西に21-20で競り勝ち、2連続3度目の優勝。

男子は神森が24-19で沖繩を破り、5年連続17度目の栄冠をつかんだ。

▽3回戦

神森36	22西原	美
仲西34	24港川	

▽準決勝

神森	24	15	9	10	19	沖繩	東
仲西	28	15	9	10	19	沖繩	東

▽準決勝

神森	24	15	9	10	19	沖繩	東
仲西	28	15	9	10	19	沖繩	東

▽決勝

神森	24	15	9	10	19	沖繩	東
仲西	28	15	9	10	19	沖繩	東

激しく競り合い雪辱

女子決勝は美東が21-20で仲西との競り合いを制し、大会2連覇した。1月の浦添市長杯決勝で仲西に敗れていただけに、西田(こう)主将は「あの悔しい思いをしたけど、優勝旗を取り戻せた」と喜んだ。

立ち上がりから5連続失点を許す。開始4分でタイムアウトを取り、気持ちを切り替えると、美東の反撃が始まった。西田を中心にパスで相手の横線守備をすらし、エースL B名嘉陽菜のシュートが決まり始め、11-11で前半を折り返す。

焦点 美東歓喜V2

もCB西田が相手守備の間からシュートをねじ込んだり、RW比嘉えみなが急な角度から点を決めたりした。比嘉は「チームに貢献できてよかった」と笑顔。メンバーがそれぞれ役割に徹した。

後半20分、長い間ゴールが遠かった名嘉のシュートも決まり始めた。「疲れもあつたけど、走り切れた」と勢いのあるシュートを決め、エースの底力を見せつけた。

名嘉に頼りがちになることや守備とGKの連携など課題が残った。平良徳彦監督は「まずは守備をしっかり取り組んで、攻撃のバリエーションを増やしたい」と夏の全国大会に照準を絞る。

(土川峻)

後半、一気に引き離す

○：男子決勝は神森が24-19で沖繩東に逆転勝利した。前半競り合うも後半一気に引き離し5連覇した。5得点を挙げ貢献した田場心大は「連覇のプレッシャーもあったが勝ってホッとした」と笑顔を見せた。

前半は9-10で折り返す。後半開始直後RW糸数恭之の連続得点から勢いに火がついた。守備も相手エース上田新夏に糸数

神森5連覇

がびつたりつき、抜かれてもPV外間大心とLB東江慶が待ち構えてシュートコースを防いだ。堅守から攻撃に転じると外間と田場の連携や、東江から糸数へのノールツクパスなど多彩な攻撃で相手を揺さぶった。

東江主将は「沖繩の大会では圧勝をして、全国で優勝する」と意気込んだ。



男子決勝 神森 沖繩東 前半 シュートを放つ神森の田場心大



ハンドボール女子で優勝した美東の選手



ハンドボール男子で優勝した神森